

ひ お

日尾集落(富山市)

子どもたちに農作業を体験させたいと考えていた富山市街の一町内会を受け入れ、里山体験農園として昔ながらの田植えや稲刈り作業などを実施している。さらに中山間地域に興味を持ってもらうため、鳥の巣箱作りを一緒に行い近隣の森へ設置するなど、自然観察の場の提供も試みている。

市街地の住民との交流を始めたことで、子どもたちとのふれあいが集落内の高齢者の楽しみとなり、集落全体に活気が生まれている。



里山体験農園にて田植え作業

ふくだなんぶちいき

福田南部地域資源保全向上活動委員会(高岡市)

地区の中央に新幹線が横断したことから、集落間に一体感をもたせるためエリア全体約5kmにスイセンを植栽し「スイセンの里」として景観づくりを行っている。3集落(荒見崎・蔵野町・辻地区)合同で事業を実施することにより、集落間の連携が強化された。

また、スイセンの植栽により草刈作業が低減され、法面等への除草剤使用量が減少し、環境への負荷が軽減された。



3集落合同でスイセンを植栽

となみしひがしのじりちいき

砺波市東野尻地域

農地・水・環境保全管理協定運営委員会(砺波市)

県内唯一の広域エリア(校下単位)の農地・水・環境保全組織として認定されている。伝承農法体験圃場を設置し、3世代で伝統的農法を実践したり、近年少なくなった素堀りの水路で、小学生を対象に生物調査を行っている。

また、活動開始からこれまでの4年間の取組みについて記録誌の作成を行っている。



3世代で伝統的農法を実践

ふとみ

太美集落(南砺市)

直売所「ふとみぼれ」を運営し、野菜、山菜や、これらを利用した加工品の販売を行っている。また、運転免許を持たない高齢者への生活支援として、日用品の販売も実施している。直売所が高齢者の語らいの場としても利用されており、集落住民の交流の場となっている。

営農組織を設立し、機械の共同利用を行うとともに、水稻の共同育苗や大麦・大豆の集団栽培に取り組んでいる。さらに、近隣集落とも連携を図っている。



集落で運営する直売所「ふとみぼれ」

せっぽうくらぶ

特定非営利活動法人 雪峯倶楽部(南砺市)

耕作放棄地を復旧し、五箇山の赤カブやソバ、エゴマなどを栽培し、五箇山の景観保全に努めている。特に五箇山の在来種である赤カブは、種の保存や販路拡大に取り組んでいる。

また、農作業ボランティアに訪れる都会の大学生を受入れ、耕作放棄地や石積みの復旧、合掌造りの屋根材になる茅を採集するための茅場の再生などに取り組む、都市との交流を行っている。



大学生との共同作業による石積み復旧

ごういんあさひ

郷インあさひ(朝日町)

県内外の子供から大人まで幅広い層を対象に、農業体験(田植え、稲刈り、野菜収穫、味噌作りなど)や里山体験(炭づくり、和紙すき、森の塩作りなど)のほか、漁業関係者と連携した魚さばき体験に取り組んでいる。近年はユースホテルや民宿と連携し、愛知県中学生150名の宿泊体験学習を受入れ、地域活性化に貢献している。



木の枝を活用した弓矢づくり